

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) こどもの食と栄養Ⅱ	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 須貝 裕	当該科目に関する 実務経験																														
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修																														
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児の適正な心身発達の一助となるよう、献立作成、調理、盛りつけ、配膳等の実際についての基礎知識及び技能を養う。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消化能力の未発達な、また抵抗力の弱い小児の食事を用意するのであることを念頭におき、特に調理法、衛生面等に配慮して行う。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児の栄養と食生活の重要性を理解し、献立作成、調理、盛りつけ、配膳等の実際についての基礎知識及び技能を習得する。 																																	
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 45%; padding: 5px;">1 乳幼児期の授乳の意義と食生活</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">}</td> <td style="padding: 5px;">*乳児期の栄養・食生活の特徴 *乳児期の食べる機能、食行動の変化 *母乳の栄養と母乳育児 *人口栄養</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 乳幼児期の離乳の意義と食生活①</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">}</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">*離乳の定義と必要性 *離乳の進め方と実際 *食事の目安 *離乳の完了 *成長の目安 *調理実習 (離乳食)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 乳幼児期の離乳の意義と食生活②</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4 幼児期の心身の発達と食生活①</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">}</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">*幼児期の成長と発達 *幼児期の栄養</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5 幼児期の心身の発達と食生活②</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">6 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 ①</td> <td></td> <td style="padding: 5px;">*学童期、思春期の成長と発達 *学童期・思春期の食生活の特徴 *生涯発達の考え方 *妊娠期、授乳期の栄養と食生活</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">7 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">8 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方①</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">}</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">*子どもの食生活の問題点 *食育推進のための体制づくり*食育基本法 *食育推進基本計画 *保育所等における食育の考え方</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">9 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方②</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">10 食育の内容と計画及び評価</td> <td></td> <td style="padding: 5px;">*保育の一環としての食育の展開 *食育の内容 *食育計画及び評価 *食育のための環境</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">11 地域や家庭と連携した食育の展開</td> <td></td> <td style="padding: 5px;">*地域の関係機関との連携や職員間の連携 *食生活指導・助言及び食を通じた保護者への支援</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">12 家庭や児童福祉施設における食事と栄養</td> <td></td> <td style="padding: 5px;">*家庭における食生活上の問題点 *家庭における食事の役割 *児童福祉施設の役割</td> </tr> </table>				1 乳幼児期の授乳の意義と食生活	}	*乳児期の栄養・食生活の特徴 *乳児期の食べる機能、食行動の変化 *母乳の栄養と母乳育児 *人口栄養	2 乳幼児期の離乳の意義と食生活①	}	*離乳の定義と必要性 *離乳の進め方と実際 *食事の目安 *離乳の完了 *成長の目安 *調理実習 (離乳食)	3 乳幼児期の離乳の意義と食生活②	4 幼児期の心身の発達と食生活①	}	*幼児期の成長と発達 *幼児期の栄養	5 幼児期の心身の発達と食生活②	6 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 ①		*学童期、思春期の成長と発達 *学童期・思春期の食生活の特徴 *生涯発達の考え方 *妊娠期、授乳期の栄養と食生活	7 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活②			8 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方①	}	*子どもの食生活の問題点 *食育推進のための体制づくり*食育基本法 *食育推進基本計画 *保育所等における食育の考え方	9 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方②	10 食育の内容と計画及び評価		*保育の一環としての食育の展開 *食育の内容 *食育計画及び評価 *食育のための環境	11 地域や家庭と連携した食育の展開		*地域の関係機関との連携や職員間の連携 *食生活指導・助言及び食を通じた保護者への支援	12 家庭や児童福祉施設における食事と栄養		*家庭における食生活上の問題点 *家庭における食事の役割 *児童福祉施設の役割
1 乳幼児期の授乳の意義と食生活	}	*乳児期の栄養・食生活の特徴 *乳児期の食べる機能、食行動の変化 *母乳の栄養と母乳育児 *人口栄養																															
2 乳幼児期の離乳の意義と食生活①	}	*離乳の定義と必要性 *離乳の進め方と実際 *食事の目安 *離乳の完了 *成長の目安 *調理実習 (離乳食)																															
3 乳幼児期の離乳の意義と食生活②																																	
4 幼児期の心身の発達と食生活①	}	*幼児期の成長と発達 *幼児期の栄養																															
5 幼児期の心身の発達と食生活②																																	
6 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 ①		*学童期、思春期の成長と発達 *学童期・思春期の食生活の特徴 *生涯発達の考え方 *妊娠期、授乳期の栄養と食生活																															
7 学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活②																																	
8 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方①	}	*子どもの食生活の問題点 *食育推進のための体制づくり*食育基本法 *食育推進基本計画 *保育所等における食育の考え方																															
9 保育における食育の意義・目的と基本的な考え方②																																	
10 食育の内容と計画及び評価		*保育の一環としての食育の展開 *食育の内容 *食育計画及び評価 *食育のための環境																															
11 地域や家庭と連携した食育の展開		*地域の関係機関との連携や職員間の連携 *食生活指導・助言及び食を通じた保護者への支援																															
12 家庭や児童福祉施設における食事と栄養		*家庭における食生活上の問題点 *家庭における食事の役割 *児童福祉施設の役割																															

- | | |
|------------------------|---------------------------------------|
| 1 3 特別な配慮を要する子どもの食と栄養① | *子どもの疾患及び体調不良の特徴
*疾患及び体調不良の子どもへの対応 |
| 1 4 特別な配慮を要する子どもの食と栄養② | *食物アレルギーのある子どもへの対応
*障害のある子どもへの対応 |
| 1 5 期末試験 | |

[使用テキスト・参考文献]

- 新基本保育シリーズ 子どもと食の栄養 (中央法規)
- 配布プリント

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- 考查点(75%)
 - ・到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。
- 平常点(25%)
 - ・事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
 - ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。